

谷町九丁目駅(地下鉄谷町線・千日前線)

西鶴、近松が眠る谷町・上町を歩く

大阪上本町駅(近鉄大阪線・難波線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.074

地下鉄谷町九丁目駅

①服部良一歌碑

服部良一は「東京ブギウギ」「銀座カンカン娘」「青い山脈」など、当時最先端のジャズ、洋楽のリズムやビートを歌謡曲に大胆に持ち込んだ「日本ポップスの父」で、手がけた楽曲は3500曲を超えるといえます。服部良一歌碑は母校の東平小学校跡地に建立されたもので、ボタンを押すとスピーカーから「青い山脈」が流れます。

②井原西鶴墓(誓願寺)

井原西鶴は、寛永19年(1642)に大坂の商家に生まれ、談林派の俳人として活躍しました。生玉本覚寺で1600句、生玉本坊で4000句、住吉大社で23500句もの独吟興行を行い、矢数俳諧の第一人者となりました。その後、浮世草子『好色一代男』を発表し、『好色五人女』『好色一代女』などの好色ものや、『日本永代蔵』『世間胸算用』などの町人もので数多くの傑作を執筆しました。

③近松墓所

近松門左衛門は江戸時代に活躍した脚本家で、『曾根崎心中』『心中天の網島』『女殺油地獄』といった義理と人情の葛藤を描いた世話もの、心中もので人気を博しました。もともと当地に法妙寺があり、昭和42年(1967)の谷町筋拡張工事の際、寺は大東市に移転しましたが、境内にあった近松門左衛門の墓だけは国の史跡指定を受けており、現地保存が義務づけられていたため、当地に残されました。

④豊竹若太夫墓(本經寺)

豊竹若太夫は竹本義太夫と並び、活躍した浄瑠璃の太夫で「竹本座」のライバル「豊竹座」の創始者です。天和元年(1681)大坂に生まれ、竹本義太夫の門人でしたが、元禄16年(1703)に独立。豊竹若太夫の名で道頓堀「竹本座」東側に「豊竹座」を創始しました。



⑤高津宮

主祭神は仁徳天皇です。貞観8年(866)、勅命で難波高津宮の遺跡が探索され、その地に社殿を築いて仁徳天皇を祀ったのがは

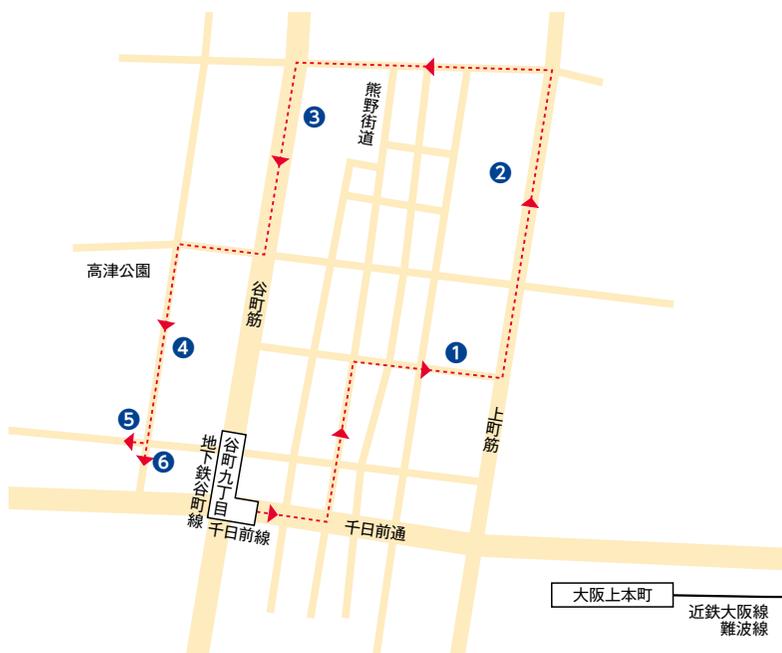
じまりといえます。その後、天正11年(1583)に秀吉が大坂築城する際、現在地に遷座しました。5代目桂文枝の石碑、美人画家・北野恒富の筆塚など、さまざまな旧跡が点在しています。



⑥梶井基次郎墓(常国寺)

梶井基次郎は明治34年(1901)、大阪市西区土佐堀通生まれで、北野中学から東京帝大英文科に進んだ後、大正14年(1925)に名作『檸檬』を発表しました。しかし翌年に肺結核のため、3歳の若さで早逝。死後、評価が高まり、今日では近代日本文学の古典の位置を占めています。

地下鉄谷町九丁目駅



大阪上本町

近鉄大阪線
難波線